



第 32 回発表会の振付が始まりました

5 月の下旬から発表会の振付が始まりました。ふだんのお稽古を真面目にしていなかったわけでは決してありませんが、やはり、振付が始まると教室のみんなの目の色が変わります。一曲目はどの教室もほぼ仕上がりました。そろそろ二曲目にはいろいろかな、というところ。今年のお話は「川のほとりの一本の松」「海と風と太陽と」です。地球の誕生からエディアカラ紀(カンブリア紀の手前、6 億 2000 万年前から 5 億 4000 万年前)に出現した生命、そして現在の生命たちがでてきます。今も海に住んでいる生き物たちで、恐竜よりも昔から海に住んでいたいきものがたくさんいるそうです。ワカメなんかも大昔から住んでいたんで、なんかワクワクしますよね。

川のほとりの一本の松

住吉川のほとりに大きな一本の松の木が生えていてレオという松の精が住んでいます。年は 300 歳です。松の木の幹をトントンたたいて「お話をさせて」。そうするとレオが松の皮をはがして落としてくれます。はがれたその皮にレオの物語が書かれてありました。

- ・もう昔の話だよ。このあたりは海だったんだ。空と海が少しずつ青く染まっていく。一年の最初の光が現れる。
- ・もう昔の話だよ。寒くなると白い鳥が飛んできてぼくの肩にとまるんだ。小さな笛を空に投げると雪がやってくる。
- ・もう昔の話だよ。凍てつく夜は星たちの歌が響き渡る。白い星、青い星に赤い星。歌声は大地にしみ込んで、次の朝には氷の結晶が生まれる。
- ・もう昔の話だよ。川の向こうに桜の木があった。
桜は川を渡ってぼくに会いに来てくれる。そして川のこっちで一緒に過ごすんだ。土へと還るその日まで。
- ・もう昔の話だよ。桜が土に還って足下を見ると、たくさんの小さな花たちが待っていてくれた。
- ・もう昔の話だよ。雨が降ると僕の葉っぱは小さな鈴をたくさんつけたみたいになりぎやかになる。そうして虹の精をお迎えしたんだ。
- ・もう昔の話だよ。竜の五族会議がひらかれた。竜たちはぼくに言ったよ。「レオよ、緑の竜になれ」って。
- ・...ううさいなあ。朝もやの中まどろんでると、つんざくような歌声。そうだ、また蝉の季節になった。
- ・もう昔の話だよ。涼しくなると虫の演奏会が開かれた。ぼくの幹に住んでいるコオロギがぼくを特等席に招待してくれたんだ。
- ・もう昔の話だよ。彩の精が山からの帰り道、ぼくの上に落し物をした。からまったツガがぼくを紅く染めてくれた。
- ・今日は中天に満月。願い事がかなう日。ぼくは一つの願い事をする。
死者の魂も生者の魂もぼくの前に集まって、踊りの輪が終わることなく続きますように。

海と風と太陽と

太陽のカケラが地球にやってきた。 イルルだ！
おととい

イルルは火の玉の地球に雨を降らせ 海をつくって 1 万メ - トルの海底にすむことにした。

きのう

イルルは少しずつ生命をつくった。

藻のダンス プランクトンのジャンプ クラゲの合唱 三葉虫の運動会 ウミユリのファッションショー 海綿のヒソヒソばなし オオムガイの演奏会
きょう

イルルは自分のつくったものを満足げに見ている。

サカナ サンゴ 藻 海流 風 太陽

あした

イルルは太陽のもとへ帰ろうとしている。

にんげんは海に向かう。 にんげんはイルルと出会う

活動報告

創作実験劇場

3 月 21 日(土) 兵庫県民小劇場

作品「ぼくたちのアジール」「響く森」「川-海を見た」「幻影」「運ぶ」「ハスミ in winter」「carry me」「カメレオン」「凍蝶」「花筏」

出演 石井麻子 板垣祐三子 萩原陽子 佐藤茉莉 梁河西 西田梨緒 平岡愛理 田中彩加 姜未喜 田中文菜 谷岡みなみ

谷岡亮 灰谷留理子 向井華奈子 かじのり子 菊本千永 金沢景子 寺井美津子 藤田佳代

藤田佳代の新作「運ぶ」は、生あるものが運んでいる命、に着目していた。過去を喚起するような音楽、イメージを膨らませる能に近い動き。踊りを通じ、命は自分だけのものではなく太古から生命体と繋がっていることを啓示していた。同じく藤田作舞の「ハスミ in Winter」は少年・安田蓮美が好奇心いっぱい冬の花筏からなにかを感じ取る。ほのぼのとした情感がいい。ほかに金沢景子「花筏」、向井華奈子「凍蝶」に生へのいとおしみ。かじのり子「ぼくたちのアジール」、菊本千永「Carry me」には社会派的な目。長く公演してきた兵庫県民小劇場への別れのはなむけに見えた力作揃いだった。

白石裕史 関西音楽新聞 2009 年 5 月 1 日

いちばんさいしょのかじのり子せんせいのつくったぼくたちのアジールを見て、はくりよぐがありました。ひびくもりをみて、音楽とおどりが、いっしょにせまってくるようなきがしてなにもいえないくらいでした。いちばんいいなあとおもったおどりは、花筏です。おどっている人たちがみんなそろっていたからです。わたしもバレエのはっぴょう会が楽しみです。

清河鈴羽(山の街教室 小3)

藤田佳代舞踊研究所が(創作実験劇場)を行った。この舞踊研究所には、ダウン症候群のダンサー安田蓮美がいる。指導にあたる藤田佳代の振付により、2006年「ハスミの四季」のシリーズをはじめ、それが今回の「ハスミ in Winter」で完結した。舞台中央に太い桜の木の幹があり、その前に白いスポーツウェア風の衣装の少年(安田蓮美)が立っている。すでに十年以上のダンスのキャリアを積んでいる安田は、倒立やブリッジを織り込んだ振付を、ピアノ、チェロ、ヴァイオリンの生演奏(作曲=丹生ナオミ)に合わせてたんとと踊った。桜の精(向井華奈子)などのダンスも次々とこなし、桜の木の聳え立つ風景を完成させた。しかし彼女がやれる動きは普通のダンサーと比べるとぐく限られたものでしかない。出来る動きに一一つけんめいに取り組む姿が彼女のダンスだ。ここまで仕上げるのにどれほどのエネルギーが注ぎ込まれたのだろう。ハスミのダンスはこの舞踊研究所全体の努力の結晶として見た時に、はじめてそのほんとうの意味を知ることができる。藤田の新しい群舞作品「運ぶ」の中に、ハスミを指導することで逆に彼女が得たものを私は見たような気がした。まず藤田自身のソロがあり、その後には単純な動きを繰り返す群舞が続く。藤田はプログラムに「すべての生き物は目に見えない命を運んでいる」と書いている。このように深い意味を含めた精神的なことが、これほどわずかな動きだけで表現できることに大きな驚きを覚えた。他のかじのり子、寺井美津子、向井華奈子、菊本千永らの作品にも、私はハスミのダンスの、シンプルな動きを大切にしている効果が及んでいたと思う。

山野博大 週間オン ステージ新聞 2009年4月24日

こうべ全国洋舞コンクール 4月25日26日 松方ホール 向井華奈子「凍蝶」 西田梨緒「空」

今後の予定

ハスミのダンス

8月23日(日) 新神戸オリエンタル劇場

ハスミ in Spring ハスミ in Summer ハスミ in Autumn ハスミ in Winter 野に咲く花のように

構成・振付・演出 藤田佳代

出演 安田蓮美

寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 萩原陽子 平岡愛理 西田梨緒

菊原麻理奈 渡辺菜子 相原桃乃 西尾咲里 藤井花名 雲井瑞穂 松山美海 坂本のより

リズムクラスの生徒たち

ハスミちゃんの日々はとても忙しい。

月曜日。2時半から30分リサイタルのためのリハーサル。3時からバレエ体操クラスと4時から6時までリズムクラスを2クラス受けて、そこから30分ふたたびリハーサル。水曜 10時から11時までバレエ体操科。その後ほぼ1時間リハーサル。水曜は2作品踊っています。金曜日。1時30分から2時30分までバレエ体操科。その後だいたい1時間リハーサル。土曜日。ハスミ in Summer に妖精で出演するメンバーとのリハーサル。1時30分からほぼ1時間。手を抜くことを一切せずにとりこんでいます。

6年前に第一回目のリサイタルが大成功で終わりました。その後、一年に一作ずつ作品を創作実験劇場で発表してきました。周囲のハスミファンからの「もう一度リサイタルを」という声が大きくなってきたこと、次の誕生日で30歳を迎えること、そして、やっぱりこれだけ時間をかけて仕上げてきた作品を観ていただきたい、との思いから二回目のリサイタル開催に踏み切りました。一回目のリサイタルから考えると、技術面、表現力、どれをとっても飛躍的に力をつけてきています。

リハーサル中は佳代先生の厳しい声が飛ぶこともありますが、天性の明るいキャラでスタジオ中笑いが絶えないことも事実。出演者は全員張り切っています。どうぞ観に来てください。

つくしホールオープニングセレモニー 7月19日(日) つくしホール

「青の風」「夕焼け雲」「響く森(作舞 谷岡亮)」

作舞・指導 かじのり子 出演 山の街教室研究生

女性教職員による夏の集い 7月31日 勤労会館 ゴールドベルグ変奏曲による「花たちの季節」

構成 藤田佳代

作舞・出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 萩原陽子 西田梨緒 平岡愛理

DANCE 夢洞楽 2009 8月5日 北沢タウンホール 「死者たちからのバトン」

作舞 菊本千永 出演 寺井美津子 金沢景子 かじのり子 向井華奈子 灰谷留理子 菊本千永

ピッコロフェスティバル 8月16日 ピッコロシアター

「sandlot ・ひとつぶの砂 Where I came from ・砂から ・涙砂(すな)の声」

構成 向井華奈子

作舞・出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 平岡愛理 向井華奈子

Dance Bouquet 8月30日 本部スタジオ

山の街自治会敬老の集い 9月21日 つくしホール

振付・指導 かじのり子 出演 山の街教室研究生

第32回発表会 10月12日(祝・月) 神戸文化大ホール

第10回藤田佳代作品展 11月3日(祝・火) 神戸文化中ホール

ワークショップ 受けてきました(受けにいきます)!

平瀬信勝ワークショップ 3月26日 4月2日 本部スタジオ

参加者 寺井 金沢 菊本 かじ 向井 萩原陽子 梁河茜 平岡愛理 西田梨緒 谷岡亮

市田京美・トーマス デュシャトレワークショップ 6月29日30日7月6日 リハーサル室

参加者 菊本 かじ 向井

森優貴ワークショップ 7月29日30日31日 KAVC 参加者 西田 平岡 谷岡

今回は大きめの字です。少しくらいは読みやすいですか？

責任編集 菊本千永